令和８年度第２回香美市振興計画等審議会

１　日　　時　：　令和８年７月 30 日（木）10 時 00 分から 11 時 45 分まで

２　場　　所　：　香美市役所３階会議室２

３　出 席 者　：

高知工科大学	副学長	岩田　誠
高知工科大学	教授	高木　方隆
高知工科大学	教授	上村　浩
香美市農業委員会	会長	岡田　修一
NPO 法人　いなかみ	代表理事	近藤　純次
香美市防災士連絡会	会長	武内　土佐雄
中央東福祉保健所	所長	遠近　正彦
香美市社会福祉協議会	会長	弘末　俊郎
香美市商工会	会長	三谷　勝義
高知県産業振興推進地域本部		
地域産業振興監（物部川地域担当）		山﨑　義道
香美市教育委員会	委員	正木　章彦

４　欠 席 者　：　物部森林組合　　組合長　　小松　律男

５　会議録要旨

（１）議題１　副会長の選任

・副会長に正木委員を選任

（２）議題２　第２次香美市振興計画第 10 次実施計画

・次期計画では、目的や目標を設定する様式に改める。

（３）議題３　第２期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況について

・自主防災組織の組織率が約 98％であるが、公助には限界があり、自助・共助の意識をどう高めていくかといったことを計画に盛り込んでいただきたい。

・どの地域が上手くいっていないといったことがわかりやすくするため、地図に落とせるものは地図に落とし、視覚的に見せるようにしていただきたい。

（４）議題４　総論（案）について

・外国人の人口推移、山田特別支援学校の生徒数の表を追加する。

（５）議題５　基本構想（案）について

・評価指数は、経年変化を示していく。

（６）議題６　基本計画（案）について

・各施策の一部を統合し、26 の政策を小分野として 12 に、施策を 67 から 34 に削減した。

・７月 21 日に閣議決定された「地域未来戦略（旧：総合戦略)」を受け、本市の総合戦略について基本計画を基に取りまとめる。

・KPI としての「まちづくりの指標」と各施策に紐付く分野別計画を整理していく。

・部活動の地域移行だけでなく、子どもたちが幼少期から多様な活動に触れられるよう、より具体的な施策を盛り込んでいただきたい。

・「子ども・子育て」の分野の中に「若者の出会い支援」が含まれていると、「子どもを産むために結婚しなさい」という印象を与えかねないので、出会いは純粋に若者が交流を楽しめる場づくりとして、少子化と子育てを分けていただきたい。

・「出会い・結婚支援」については、子育てに入る前の施策であり、人を定着させる施策として「地域振興」の施策とすべきではないか。

・施策５と施策６を一つにまとめ、住宅の供給が移住にもつながるという考えを分かりやすく打ち出していくべきではないか。

・便宜上、各施策を分類せざるを得ないが、それぞれの施策が相互に影響し合うことを示すため、横断的な繋がりが分かるような整理の仕方を検討する。

・商工業振興の「施策の内容」を整理する。

・成年後見制度の記述は、改正民法と改正社会福祉法の関係を明確にすべきではないか。

・子どものときからスポーツを始め、大人になっても継続できるような仕組み作りを計画に盛り込んでいただきたい。

・施策の順番は、基本構想で示した「人口減少」「少子化対策」といったものと合致するものの優先度を高くし、優先順位の高いものから配置している。